

スペシャルナイト『宇宙(ソラ)の音』実施報告

石坂 千春*

概要

2016年12月24日(土)に、男性デュオ「ソラノオト」のクリスマス星空ライブを実施した。チケットは売り出し3分後に定員300人に達し、当日の参加者数は295人(欠席率がわずかに1.7%)、と当館で実施したスペシャルナイト史上でも最も反響が大きかった企画であった。今回のスペシャルナイトにおいては、チケット販売方法や当日の運営体制等、新規に試みた項目があったので、併せて報告する。

1. はじめに

ソラノオトはボーカル担当の伊礼亮とキーボード担当のミロによる男性ユニットである。「空の音」というユニット名が象徴するように、宇宙をイメージさせるバラード系の音楽を中心とし、全国的に活動している。ファン層は主に中高大生であるが、その母親世代にも客層を広げている。

今回、プラネタリウムホールを閉館後に使用する“スペシャルナイト”の企画として、ソラノオトのプラネタリウムコンサートを実施することとした。

スペシャルナイトでは科学教育上の意義も重視している。今回のコンサートのテーマはユニット名にちなんで「宇宙の音」とした。

宇宙はほとんど真空で音が届かず無音の世界ととらえられている。しかし、天体からの光や電波などの信号を音に変えると、驚くほど豊かな星たちの営みを感じることができる。ソラノオトの音楽と、プラネタリウムの宇宙映像のコレボレーションにより、宇宙への新たな興味の喚起を促すことが目的であった。

また、ソラノオトの主客層である中高大生は、当館にとっては最も来館の少ない空白の客層である。ソラノオトのライブをプラネタリウムホールで実施することにより、新たな客層を開拓できることも期待した。

スペシャルナイトは通常、土曜日の閉館後を当てることが多い。2016年度はクリスマスイブがたまたま土曜日であったため12月24日に実施した。

今回あらたな試みとして、経費節約および運営人員

削減のため、チケットの販売は業者に委託し、ほぼ1年前から打ち合わせや準備を重ねた。



写真1. ソラノオト
ミロ(左)、伊礼亮(右)

2. 実施の流れ

2-1. 実施要項

- ①日 時:12月24日(土)19:00~20:30(開場18:30)
- ②場 所:プラネタリウムホール
- ③定 員:300名(申込先着順)
- ④参加費:2000円(プレゼント付)
- ⑤申 込:名前、希望枚数、イベントを知った媒体名を記入し、メールを特設アドレス宛に送信※2か月前の10月25日21時から受付
- ⑥備 考:チケットの販売は株式会社ディー・スタッフに委託。

*大阪市立科学館 学芸員
ishizaka@sci-museum.jp

2-2. 当日スケジュール(予定)

18:00 受付
 18:30 開場
 19:00 コンサート第1部(6曲)
 19:30 プラネタリウム「宇宙の音」
 19:50 コンサート第2部(クリスマスソングを含め10曲)
 20:30 コンサート終了
 21:00 撤収完了
 ※実際には、第2部が大幅に延びて21:00にコンサートが終了、撤収は21:30。

2-3. プラネタリウム「宇宙の音」

第1部と第2部の間に、20分ほどであるが、石坂が「宇宙の音」について解説した。

紹介したのは、「地球のさえずり」「木星の音」「ブラックホール合体による重力波」であった。

(1) 「地球のさえずり」

「地球の歌声」とも表現される、甲高い、イルカの鳴き声のような音は、地球の電離圏と磁場の擾乱によって発生した電磁波を音波に変換したものである。この電磁波の振動数は0~10kHzなので、音波なら人間の可聴域と重なる。NASAのヴァン・アレン帯探査衛星が観測した電離圏の擾乱の音は次のサイトで視聴できる。https://science.nasa.gov/science-news/science-at-nasa/2012/28sep_earthsong

(2) 「木星の音」

2016年7月24日、NASAの木星探査機ジュノが、木星の磁気圏に突入した。その際、ジュノは2時間にわたって衝撃波の存在を記録した。この衝撃波は、太陽風が木星磁気圏にぶつかって減速する時に熱化したものである。衝撃波から発する電波の振動数は、やはり人間の可聴域と一致している(もちろん電波は横波、音波は縦波で種類は全く違い、そのままでは聴こえない)。上流側(太陽風が吹いている方)では、澄んだ“音”だったものが、衝撃波に突入したとたん「ゴー！」という“音”に変わっている。

<http://www-pw.physics.uiowa.edu/juno/audio/>
 %この「木星の音」を紹介した際、ミロさんが即興でピアノ曲を合わせた。

(3) 「重力波」

2016年2月に大ニュースになったLIGOによる重力波直接検出。太陽質量の30倍ほどのブラックホールが2つ、0.4秒ほどの間に合体した際に発生した重力波を音声に変えたものを紹介した。ブラックホールが接近するにつれ振動数が高くなり、その“音”は88鍵ピアノで言えば左端から“音”を高めて、合体の瞬間は3オクターブ上で音が消えている(<https://www.ligo.caltech.edu/video/ligo20160211v2>)。

2-4. 運営体制

今回のスペシャルナイトでは、参加予約受付、金銭受け取り、チケット発送をイベント企画会社に委託した。これにより、チケットの管理、参加者名簿の管理、金銭の授受、当日のチケット引き換え等の作業にかかる人員を減らすことができた。

さらに、参加者の整理誘導のため、館スタッフとは別にイベント企画会社から数名、スタッフが派遣されたため、豊富な人員で運営に当たることができた。

また、当日昼12時より、記念グッズの臨時販売も行ったが、これも当館ミュージアムショップとは切り離し、アトリウムにブースを出し、イベント企画会社から派遣されたスタッフが接客に当たった。

音響についても、イベント企画会社が技師・機材を手配した。

通常のスぺシャルナイトでは館スタッフだけで運営に当たることが多いが、今回は、館のスタッフに加えて、運営スタッフのアウトソーシングをしたことも特徴であった。

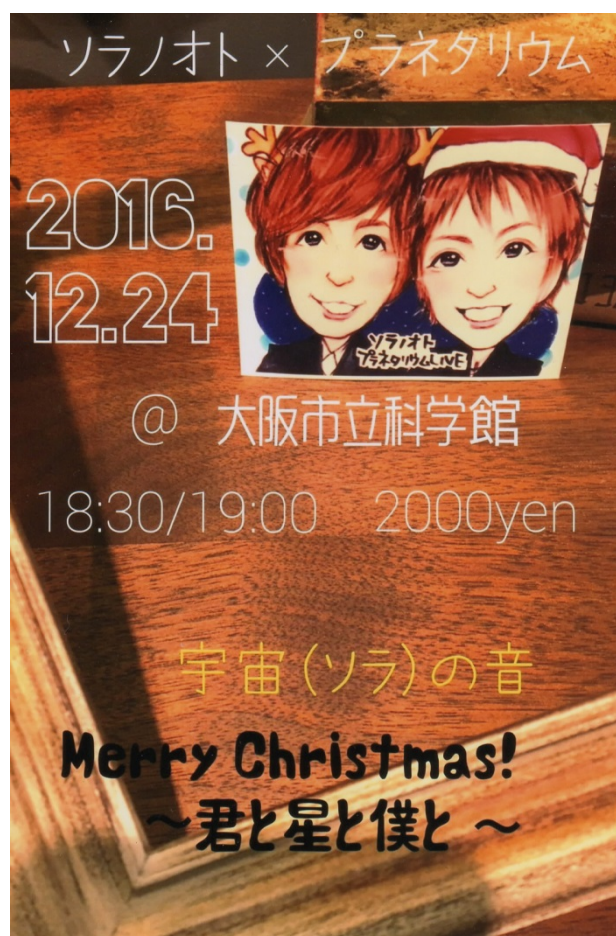


図1. ライブチケット(見本)

当選ハガキにソラノオトの似顔絵を配し、チケットそのものが「お土産」になる。これとは別に、参加者にはハガキが入るフォトフレームをプレゼントした。

3. 反響

チケットは実施2か月前の10月25日21時から発売(メールによる予約受付)したが、受付開始3分で定員300人を超え、総計1500名から予約メールが殺到したため、受付システムがダウンした。今回は受付をイベント企画会社に委託していたからよかったものの、もしも通常のスペシャルナイトのように、当館チケットカウンターのみで前売り券を販売していたら、大きな混乱が発生していたことだろう。

当日の参加者数は295人(欠席率がわずかに1.7%)、と当館で実施したスペシャルナイト史上、最多の参加率であった。

ライブ終了直後からツイッターアカウント(学芸員@大阪市立科学館@gakugei_osm)へのメッセージが届き始めた。その一部を紹介する。

- ・プラネタリウムライブ楽しかったです(*´▽`*)皆様も良いお年を。
- ・本当に素敵なライブをありがとうございました！こんなに最高のクリスマスは初めてでした。スタッフの方も科学館の学芸員さんも優しく、本当に感謝しかありません。今回やっとチケットが取れて…行けなかった方も大勢います。またぜひこのチームでやって頂きたいです！！
- ・石坂さん！お疲れ様でした。そして楽しいひと時をありがとうございました。あのmcも楽しかったです。
- ・お疲れ様でした。素敵なライブでした。
- ・ソラノオトプラネタリウムライブ楽しかったです。プラネタリウムで綺麗な中、ミロさんのピアノに亮くんの歌声すごく素敵な空間で滅多に経験できないようなライブで素敵すぎて癒されました。また、来年もしてほしいって思いました。
- ・お疲れ様でした！星空の下でのライブが初めてだったのでめちゃくちゃ感動しました！石坂さんの宇宙についてのお話も知らないことがたくさん聞けて嬉しかったです☺️そしてすごく面白かったです！笑 またプラネタリウム行ってみたいです！
- ・すごく楽しかったです。星とか天体が好きでよく見上げたりしてたんですけど、プラネタリウム並みに見えることってないですもんね。感動しました。そしてソラノオトの音楽がまた最高にマッチしていて…。本当にありがとうございました(o^^o)
- ・12月25日：亮くんの載せてくれた全体写メの学芸員さんがめっちゃ可愛いwww
- ・石坂さん、(人”▽”)ありがとうございました☆MCすごく楽しかったです！地球や木星、さらにはブラックホールに音があるのを知って、とても興味が湧きました！！プラネタリウムのいつもと違う新しい魅力を見

れた気がします🥰お疲れ様でした☺️

- ・石坂さん！昨日は素敵な時間をありがとうございました！MC最高に楽しかったですよ！ぜひ毎年ソラノオトライブしてください！！👉またプラネタリウムを観にいきたいと思っています！石坂さんのMCを楽しみに☺️メリークリスマス🎄🎅
- ・石坂さんのぶった斬るような突然のMCめっちゃ盛り上げて下さりありがとうございました☺️大阪弁では「ソラノオト」の発音あってますので大丈夫ですよ！歌とピアノ、幻想的なプラネタリウム…毎年の恒例行事にしてください👉
- ・石坂さあ～ん(´▽`)ノ♥素敵な時間をありがとうございました♥石坂さんのMCサイコーでしたよ♥宇宙の音のお話も・特に木星の音にミロさんの即興ピアノが素敵でした👉
- ・ソラノオトプラネタリウムライブお疲れ様でした！！自分にはもったいないぐらい幸せなライブでした！過去のライブの写真が流れたのは凄く感慨深かったです。ありがとうございました！
- ・とても素敵なライブを企画して頂き、ファンとしてとても感謝致します☺️静岡からのプチ遠征でしたが、参加出来て良かったです！貴重な地球の音なども聴けて、為になりました。ありがとうございます👉石坂さんの発音クセになりそうです。笑
- ・素敵なliveでした!!!始まった時すごく感動でした！ありがとうございました！
- ・素敵なライブでしたね。美しい映像とソラノオトの音楽でこの上ない贅沢を感じました。ほしの音のお話興味深かったです。今回は子どもはお留守番してもらいましたが、連れてきてあげたいと思いました。その時はプラネタリウム以外も！
- ・昨日は素敵な時間をありがとうございました♥️すごくおーく感動しました。大阪市科学館でライブ!!真っ暗なかで!!なんて思いながら伺ったのですがステージの赤に立派なリクライニングシート♥️ライブとプラネタリウムのコラボ、2人の後ろを流れる星👉また見たいです
- ・ソラノオト×プラネタリウムライブとても素敵でした👉公演前に一般のボイジャー太陽系脱出！で星の勉強をした後だったので楽しさ倍増☺️ミロさんのピアノ、伊礼亮さんの歌、そして幻想的なプラネタリウムの演出…♪今までに無い素晴らしいライブでした！
- ・昨夜ソラノオトのプラネタリウムライブに参加させていただきました♪360°の天体(宇宙)と音楽が合わさり体験したことのない感動!!宇宙の音を初めて聴きソラノオトと共通する癒しを感じる素敵な時間でした。またぜひソラノオト×プラネタリウムのライブ観たいです♪

- ・おはようございます◎昨日のソラノオトプラネタリウム最高でした☆彡 ピアノと歌と星空の融合は宇宙遊泳してるみたいな感じで最高の空間、最強の癒しでした。もちろん科学館の方のMCも楽しかったです。ありがとうございました。

4. 課題とまとめ

これまで述べてきたように、今回のスペシャルナイトは運営にかかる作業・人員にアウトソーシングを導入し、非常に顧客満足度が高いものとなった。この点は評価できるだろう。

ただし、いくつかの問題・課題が生じたことも述べておきたい。

- ・ボーカルの伊礼さんが、前日、札幌でソロライブを行っていたため、大阪入りは当日になる予定であった。ところが札幌が記録的な大雪で交通がマヒし、帰京すら危ぶまれる事態となった。アーティストのスケジュールを入念に確認すべきであった。
- ・開場が 18:30 であったので、参加者には 18:00 に集合するよう連絡していたが、記念グッズの販売を 12 時から行っていたため、前ノリで来館した参加者が閉館後から開場までの居場所に困っていた。
- ・ライブチケット(図1)には整理番号が振られており、その番号順に入場することになっていたが、イベント企画会社と当館との連絡調整が不足しており、入場待ちの整列で混乱が起きた。また 18 時から 18:30 まで三々五々来場する 300 人を順番に並べることに、予想以上の労力と人員を要した。
- ・第 2 部が大幅に延び(アーティストがお客様に喜んでもらおうとガンバってくれたため)、終了撤収が 30 分以上遅くなった。
- ・広報用に記録写真を撮っていたが、アーティストの一

人が顔出し NG であることが、ライブ終了後に判明した。事前にイベント企画会社には撮影許可について問い合せて許諾を受けていたが、所属事務所から NG 方針の徹底の連絡があったのが当日開場後だったため、広報担当に伝達できなかった。

以上のような点はあったが、全般的に成功したスペシャルナイトであったと考えている。

今後も、科学の教育普及に有意義で、かつ、お客様に喜んでいただける、「科学を楽しむ文化の振興」に資するイベントを企画開催していきたい。

謝辞

株式会社ディー・スタッフの種川智恵氏には、当スペシャルナイトの企画・アーティストとの連絡調整・映像演出・当日の運営に多大なる協力をいただきました。感謝します。



写真2. 終演後の記念撮影

最上段、コンソールに筆者が小さく写っている。